

中国 5 県コロナ対応緊急支援助成（第 2 期）

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	不採択
団体名	NPO 法人 西城町観光協会
代表者名	山口 和男
申請事業名 主題	移動販売を基軸とした「地域の絆」構築によるまちづくり事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】実行団体のハード整備と組織基盤強化を通じた、必要とされている方への食支援事業
解決すべき社会課題	⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	<p>①移動販売事業</p> <p>当該地域の顧客の多くが所謂、「買い物難民(定義:食料品を購入できる店舗まで直線距離で500m以上あり、かつ自動車の利用が出来ない人)」に該当しており、現在、地域内事業者である「西城町産業振興開発(株)」が平成22年度より移動販売車を運営しており、約90名の地域住民が利用している。少子高齢化が進行により、加齢で足腰が弱くなった人、自動車の免許を返納した住民も多く、地域の課題として優先度の高い事項である。過疎による人口減少はあれど、移動販売での「一人当たりの単価」は平均1,931円とここ数年は微増傾向にあり、以前地域の需要は高いと考えている。</p> <p>②フードバンク事業</p> <p>地元農家やAコープ、社会福祉協議会と連携し、規格外の農作物や寄付された食料品を当会に集め、困窮世帯等に品質に問題のない商品を安価に提供できる仕組みを構築する。地元農家にとっても本来値段のつかない規格外品が少しでも収入となり、廃棄に要する経費削減にも繋がる。また、当会の移動販売事業や共食事業と連携することで、事業間のシナジーによる効率化・収益性の向上を図る。</p> <p>③供食事業</p> <p>フードバンク等で仕入れた食材等を使用し高齢者へ向けた定期的な食事会を開催する。「コロナ禍」で外出する機会も減り、地域の繋がりが希薄になってきている。当会が見守りも兼ねたコミュニティづくりを行い、住民</p>

	の地域に対する満足度を高めていく。移動を委託する交通会社や会場となる当会事務局にはコロナ対策を行うなど高齢者が安心して参加できる体制を構築する。
事業実施地域	広島県庄原市西城町
申請事業期間	(開始月)2021年9月～(完了月)2021年12月
申請助成額	7,672,000円 【内訳】直接事業費 7,144,000円、管理的経費 528,000円

■ 審査コメント

- ✓ 移動販売が必要な活動であることは疑いようもないが、本助成事業の趣旨とかけ離れているのでは。
- ✓ 買い物困難者に食料支援が必要であるとして、それはこの助成が想定しているような本来市場性が伴わないものであるはず。
- ✓ フードバンク活動の有償性は度々議論となり、個人的には寄贈者が趣旨に賛同すれば特に問題ではないと思うが、安い産廃業者にフードバンク活動が成り下がる危険性があり、基本的にはボランティア性、贈与中心とすべきではある。
- ✓ よほどの案件でなければ、本助成事業で新規案件の助成は適切ではないと思う。
- ✓ 仮に実施したとしても、集めた食品を福祉的にどのように利活用するかイメージを描けていない。
- ✓ 移動販売に必要な車両を整備したいため、後付けでフードバンク活動の要素を加えたように思えてならない。
- ✓ 組織体制も十分とは言えない。
- ✓ 過疎地域の食支援という発想はよい。
- ✓ しかし組織体制、事業計画十分でなく事業の実現可能性に懸念がある。
- ✓ 団体HPがなく、活動を周知する方法は人的ルートが中心となるため広報の強化が必要となる。
- ✓ 中山間地域の買い物弱者対策は重要なテーマで、これまでの事業主体からの事業移管による存続は重要な取り組みになると思う。
- ✓ ただ、事業ノウハウなどの経験値がないこと、実施体制が十分とはいえないことなど、安定した事業の遂行について不安がある。
- ✓ フードバンク事業の対象者困窮世帯数が不明。
- ✓ 地域経済循環には期待したい。
- ✓ 申請書から移動販売用車を期待していることが読み取れるが、募集要項を確認したが、趣旨からは外れるのではないかと考えている。
- ✓ 移動販売、過疎地支援の必要性は疑いようがないが、この助成プログラムでやるべきなのかは疑問。
- ✓ 過疎地域の即支援は新しい着眼点とを感じるが、助成趣旨とは異なると思う
- ✓ 問題意識はわかる、大変重要な事だと認識している。
- ✓ 一方で、本助成事業との合致については疑問。
- ✓ 申請書 6,7 ページが空白。これから始める事業ということで書けないことについては理解できるが、12月までに成果必要な事業であることから、実現性については無理があると判断する。

- ✓ 提案されているこのシステムができたらいいと思うが、本助成の趣旨とはずれていると感じる。
- ✓ 体制についても危うさを感じる。
- ✓ 地域の実状が見えないと何とも言えないが、スーパー無くなってやっていける地域なのか、地域経済のような新しいシステムが生まれるのか背景が分からないと判断が付かない。
- ✓ 中山間地域の買い物支援ニーズとコロナによって発生しているニーズは基本的に違うのではないかという認識している。
- ✓ この点において、コロナ禍であることはそこまで重要な背景ではないように思う
- ✓ 中山間地域の実状は理解していて、不便な状況は理解している。申請書で示していただいた課題は、これはコロナではなく過疎化が進むことで起こっている。
- ✓ 別事業として買い物弱者対策は必要だと思う。